

収蔵品

対馬博物館では、歴史、考古、美術、民俗、自然に関する資料を収集します。



梵鐘

重要文化財／室町時代 応仁3年(1469)

清玄寺ゆかりのこの梵鐘は、^{そうもりいえ}宗盛家・^{もとえ}職家父子らの発願で筑前芦屋の鋳物師によってつくられました。朝鮮鐘の形式を取り入れた意匠は、中世における朝鮮半島文物の影響を知ることができます。



佐賀貝塚出土品

重要文化財／
縄文時代 紀元前2500年～紀元前1500年

佐賀貝塚は建物やお墓、貝塚が残っていた縄文時代の遺跡。石斧や石鏃、釣針や貝輪、土器などが、海を隔てた各地との活発な交流を示します。



青木秀文《作品》

昭和41年(1966)

対馬に在住し活動した画家・青木秀文の油彩画。中学校の美術教師を経て、対馬美術協会の会長を務め、日韓の美術交流に精力的に取り組むなど、対馬の美術振興に尽力しました。



満山針

対馬藩で大砲方の職を務めていた満山俊蔵が、その任務の傍ら、折れにくい堅牢な釣針を考案しました。その手製技術は代々満山家に受け継がれ、典型的な製品だけで35種類あるといわれています。



相浦正信コレクション

対馬に移住後、自然史研究にその生涯を注いだ相浦正信氏の標本資料群です。長年にわたる昆虫の収集活動がもたらした、対馬のタイムカプセルとも呼ぶべきコレクションです。

観覧料

FB

詳細はウェブサイトをご覧ください。

平常展示

区分	個人	団体 (15人以上)	年間観覧券 (1人/1年間有効)
一般	550円	440円/人	1,650円
高校生・大学生	330円	260円/人	990円
小中学生	220円	170円/人	660円

※心身に障がいをお持ちの方、またその介護者の方1名まで全額免除
※対馬市内に居住する方は110円減免

特別展示

展覧会ごとに異なります

住 所：長崎県対馬市厳原町今屋敷668-2

T E L：0920-53-5100

F A X：0920-53-5111

E-mail：museum@city-tsushima.jp

開館時間：09:30-17:00[入館16:30まで]

休 館 日：木曜日[祝日の場合はその翌平日]

年末年始 12/28-1/3

※臨時休館の場合あり

WEBサイトはこちら

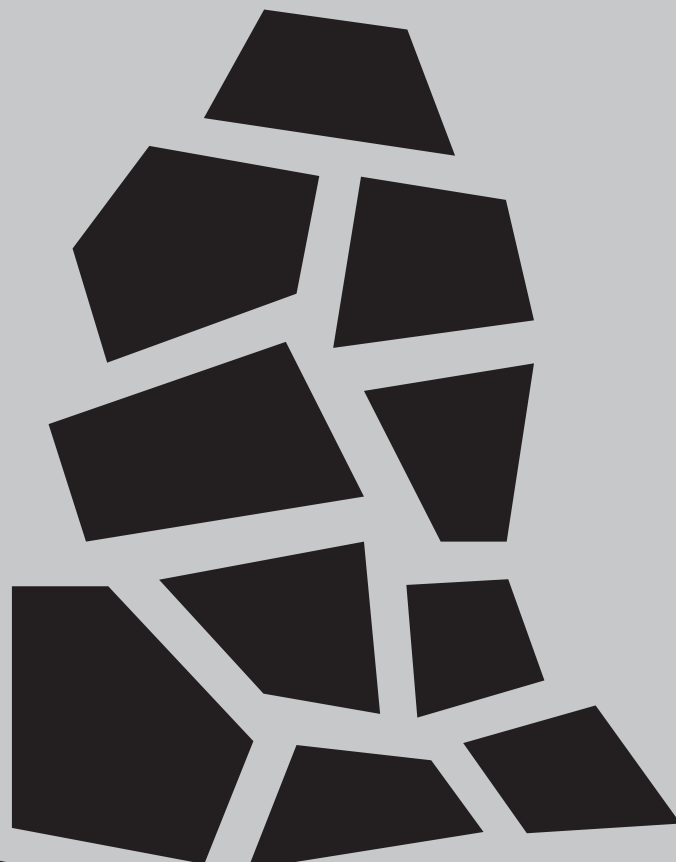
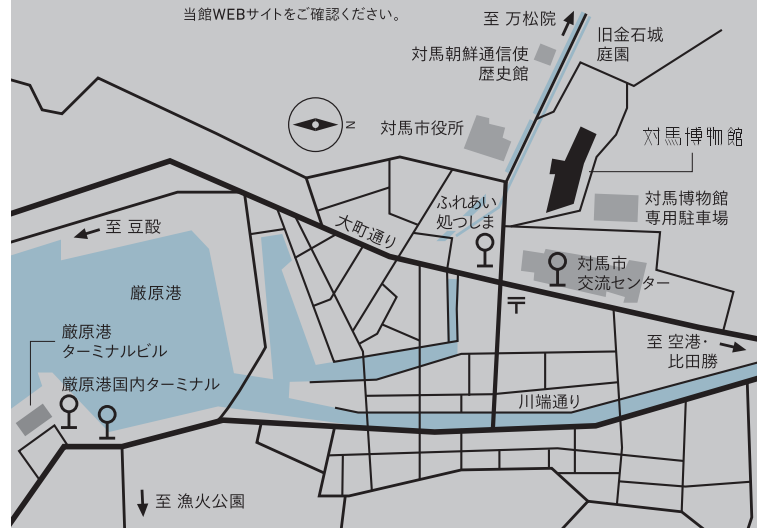


<https://tsushimamuseum.jp/>

対馬博物館の最新情報をはじめ、対馬の観光情報も発信しています！



ご来館の際は、新型コロナウイルス感染症拡大防止へのご協力をお願いいたします。最新の開催状況および注意事項は当館WEBサイトをご確認ください。



利用案内

[日本語]

モノ・ヒト・ユトの
つながるところ

対馬を伝え、 交わりを生み、 つないでいく。

対馬博物館は自然、歴史、文化、芸術を扱う総合博物館です。特色ある資料を通して、古代から現代まで、朝鮮半島など大陸の国々や日本本土と活発な交流をしている対馬のあゆみを紹介します。

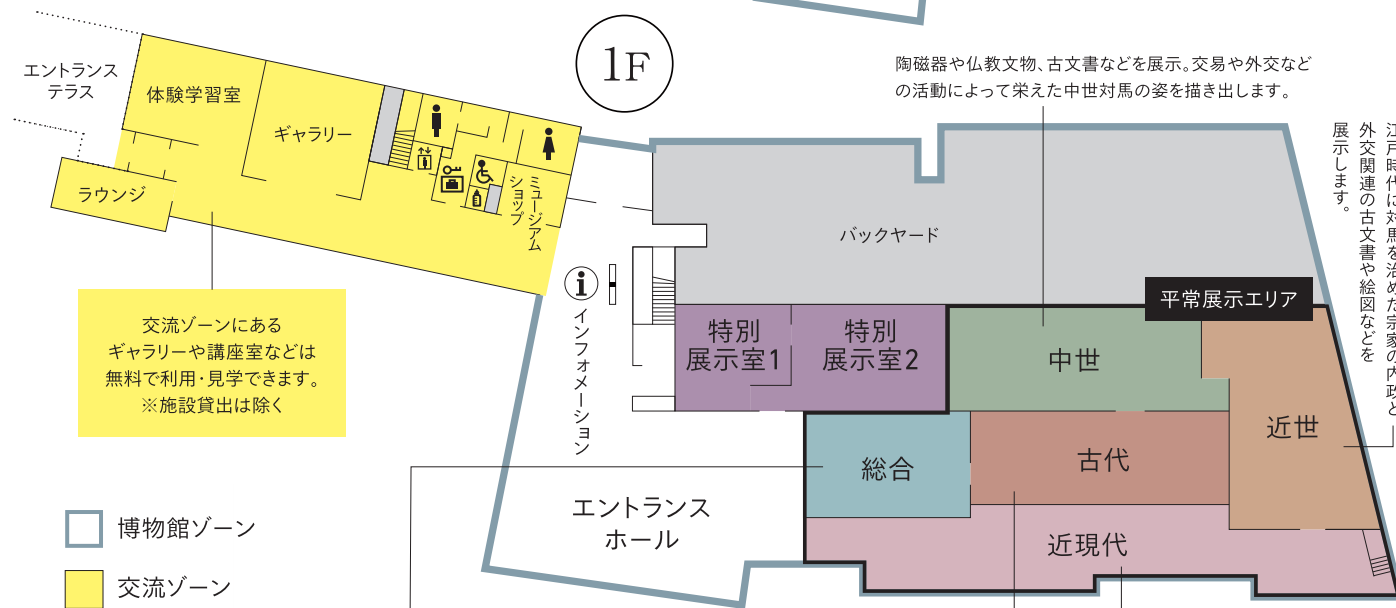
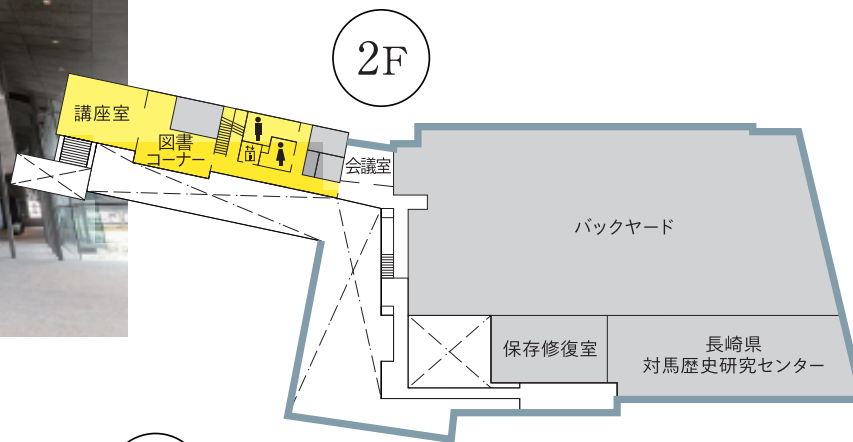
また、対馬に伝わる文化財を大切に守り、対馬を知り、学ぶことのできる場として、対馬を愛する心を育み、対馬の大切な文化財を後世に継承していきます。

使命 MISSION

- ① 対馬に関する資料を集め、守り、伝える
- ② 資料を調べ、対馬について掘り下げる
- ③ 集まり、交わり、つながる場を整える
- ④ 気づきを生み、動ききっかけを作る
- ⑤ 対馬のまちと人に貢献する



展示室へと続くエントランスホール



交流ゾーンにある
ギャラリーや講座室などは
無料で利用・見学できます。
※施設貸出は除く

□ 博物館ゾーン
■ 交流ゾーン

陶磁器や仏教文物、古文書などを展示。交易や外交などの活動によって栄えた中世対馬の姿を描き出します。

江戸時代に対馬を治めた宗家の内政と
外交関連の古文書や絵図などを
展示します。

対馬の営みや自然環境を連想させる映像
コンテンツ、博物館資料を展示します。

対馬で見つかった様々な出土品を展示し、
古代対馬の実像に光を当てます。

明治時代以降の写真パネルや関連資料を展示し、
激動の近代から現代に至るまでを振り返ります。



子ども向けプログラムやファミリー向けプログラムなどを実施しています。詳細はWEBサイトをご覧ください。

各種プログラム PROGRAMS



古代展示室



中世展示室



近世展示室